

ヤングケアラー支援に係る「校内研修パッケージ」 研修E「事例検討」 事例検討シート（高等学校・特別支援学校高等部）

生徒の状況

- ・父と高校1年生の女子生徒の2人家族
- ・父のストーマ交換、衣類の交換の介助、家事全般、見守りを当該生徒が担う
- ・入学当初に欠席や遅刻が多い状況であった。学校は、当該生徒の「体調不良のため」という理由の把握に留まり、当該生徒が父の介助を担っているなど、家庭環境までは把握していなかった

家庭の状況

- ・父は頸椎損傷による上下肢麻痺、膀胱瘻、人工肛門によるストーマ装着。日常的にベッド上の生活。車いすへの移乗に見守り等の介助が必要
- ・町内に親族が住んでいるが、当該生徒や父親と親族との折り合いは悪い
- ・身体介護や家事援助、訪問看護などの福祉サービスを平日に1日4～5時間利用している

生徒の困り感

- ・土、日曜に福祉サービスを利用していないことから、月曜日の遅刻が多くなる
- ・当初は父の世話をするのは当たり前（仕方がない）と捉えていたが、時間がたつ中でつらさを表出するようになり、高校卒業後は自宅を離れて生活したいという意思が芽生えている
- ・スクールカウンセラーや町の保健師など、相談できる相手がいる

事例検討の進め方

ステップ1

本事案で阻害されていると思われる「子どもの権利」を洗い出しましょう。

ステップ2

本事案で支援を必要としているのは誰でしょう。また、必要とされる支援はどのようなものでしょう。

ステップ3

ステップ1、2で話し合ったことを、全体で共有しましょう。
あなたのグループでは足りなかった視点について整理しましょう。

ステップ4

学校ができる支援、連携する関係機関を整理しましょう。